

校長室の窓から 126

071008 カマキリの採集ブーム

登校する時に、虫かごを手にもっている男の子を数人見かけました。近くの公園で採集した昆虫を入れています。

低学年の男の子が虫かごにいていたのは、カマキリ。かごの中には、草や石を入れ、カマキリが過ごしやすいような環境を整えています。

複数の虫かごを抱えて登校してきた 5 年生の男の子も、中にカマキリを入れていました。虫かごの中には、産卵された卵もくっついていました。

別の男の子は、かごに赤とんぼをいっぱい入れていました。カマキリの捕食用です。もともとカマキリは肉食性。産卵を終えたカマキリは食欲旺盛で、赤とんぼをもりもり食べていました。

5 年生の男の子達は、ランドセルを下ろすやいなや築山へ昆虫採集に向かいましたが、その間、児童玄関に仮置きされた虫かごを他の学年の児童が興味深そうに眺める姿がありました。

産卵により命がつながっていくことや、生きものたちには食物連鎖の生態ピラミッドがあることを学べる生きた教材となっていたようです。

採集した昆虫たちは、ぜひ責任をもって飼育してくれることを望みます。

個人的には、春に卵が孵化し、赤ちゃんカマキリが誕生するところまで、見届けてほしいものだと思います。

愛と信の仲よし

中太閤山小学校長 堀かおり



【産み付けられたカマキリの卵】